

平成 22 年度

知床世界自然遺産地域
海域資源情報基盤整備業務

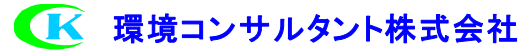
報 告 書

平成 23 年 3 月

環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所
環境コンサルタント株式会社

平成 23 年 3 月 29 日

環境省北海道地方環境事務所
釧路自然環境事務所長様



代表取締役 濱口 憲二

TEL 0154-40-2331

平成 22 年度 知床世界自然遺産地域海域資源情報基盤整備業務

今回御依頼を賜りました標題の業務につきまして、別紙の通り報告書を提出いたしますので、宜しく御査収賜りますようお願い申し上げます。

なお、この度の業務の担当は下記の通りで御座いますので、御質問、お問い合わせは随時ご連絡くだされば直ちにお伺い致しますので宜しくお願い申し上げます。

記

業務担当者 環境技術部 田村 由紀

以上

検 査	承 認

目 次

1 業務概要		
1-1 業務名	1
1-2 目的	1
1-3 期間	1
1-4 業務内容	1
1-5 委託者	1
1-6 受託者		1
2 業務方針		
2-1 調査方法	2
2-2 とりまとめ方法	5
3 調査結果		
3-1 既存文献の収集とヒアリング 調査	6
(1) 野生動物専門家ヒアリング	6
(2) 観光船事業者ヒアリング	7
(3) 既存文献の収集	10
3-2 羅臼冬期観光船乗船による利 用資源の利用状況調査	11
(1) 調査船舶の概要	11
(2) 調査実績	12
(3) 調査結果	13
3-3 羅臼冬期観光船利用者への利 用動向アンケート調査	17
(1) 調査実績	17
(2) アンケート調査結果	19

3-4 考察	・・・・・・・・・・	51
（1）海域野生動物の観光利用状況	・・・・・・・・・・	51
（2）利用者の意識	・・・・・・・・・・	51
（3）観光利用における懸念事項	・・・・・・・・・・	52
（4）海域野生動物のデータの蓄積	・・・・・・・・・・	53
（5）今後必要な情報	・・・・・・・・・・	53

資料編

- 1)野生動物専門家ヒアリング調査票
- 2)観光船事業者提供・動物・乗客データ
- 3)収集文献リスト
- 4)羅臼町観光入込数と乗船客数
- 5)斜里町観光入込数と乗船客数
- 6)観光船利用状況調査票
- 7)アンケート調査票

写真帳

別添 CD-R

- 収集文献 pdf データ
- アンケート回答データ

別冊 アンケート用紙(回答済)

1 業務概要

1-1 業務名

平成 22 年度 知床世界自然遺産地域海域資源情報基盤整備業務

1-2 目的

知床世界遺産地域の周辺海域については、観光船やシーカヤックによる利用が行われており、これらの利用によって、多くの海棲ほ乳類や海鳥類などの知床ならではの野生動物が確認されている。また、海岸線では、ヒグマも出没し、観光船にとっては重要な利用資源となっている。

今年度よりスタートした適正利用・エコツーリズム検討会議の第 2 回会議において、海域についても同会議での検討対象として位置づけられることとなったが、陸域に比して、海域における利用資源である野生動物等の利用のされ方、及び利用者の意識等については十分に把握・整理されていない。

このため、本業務では、今後の検討を進めていく上で必要となる知床世界遺産周辺海域における、主に野生動物等を対象とした観光利用についての情報を、収集、整理、分析することを目的とする。

1-3 期間

平成 23 年 2 月 7 日～平成 23 年 3 月 29 日

1-4 業務内容

- (1) 既存文献の収集とヒアリング調査
- (2) 羅臼冬期観光船乗船による利用資源の利用状況調査
- (3) 羅臼冬期観光船利用者への利用動向アンケート調査

1-5 委託者

環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所

担当：羅臼自然保護官事務所

自然保護官 中川春菜

1-6 受託者

環境コンサルタント株式会社

北海道釧路郡釧路町中央 6-15-2 電話 0154-40-2331

担当：環境技術部

田村由紀、秋元明美

2 業務方針

2-1 調査方法

(1) 既存文献の収集とヒアリング調査

1) 野生動物専門家

知床世界自然遺産地域周辺海域における海域の野生動物に関する調査研究を行っている専門家（表 2-1）からヒアリングを行い、同時に既存文献に関する情報を収集し、文献の整理を行った。

調査対象：観光船に利用資源として利用されている野生動物

項目：知床における出現時期等の生態情報

既存文献：知床世界自然遺産地域周辺海域における海域の野生動物に関する報告書、論文、出版物等

表 2-1 ヒアリング対象専門家

氏名	所属等
中川 元（斜里町）	知床博物館（館長）
小林 万里（網走市）	東京農業大学（准教授）
佐藤 晴子（東京都）	シーライフウォッチ、知床・根室海峡シャチ連絡会
山村 織生（釧路市）	（独）水産総合研究センター北海道区水産研究所
福田 佳弘（斜里町）	知床海鳥研究会
石名坂 豪（羅臼町）	（財）知床財団

2) 観光船事業者

地元観光船事業者（表 2-2）から、日々の業務において船上から確認された野生動物、観光船利用者の属性についてヒアリングを行い、情報の整理を行った。

調査対象 1：観光船から確認された野生動物（ヒグマ含む）

項目：観察記録の有無、出現時期、目撃率、出航数

調査対象 2：観光船利用者

項目：居住地（道内/道外/海外の別）、ツアー客/個人客の別

表 2-2 ヒアリング対象観光船事業者

氏 名	所 属 等
長谷川正人（羅臼町）	知床羅臼小型観光船協議会(会長)、(有)知床ネイチャークルーズ
小林 廣幸（羅臼町）	知床小型観光船協議会(会長)、(有)丸は宝来水産ゴジラ岩観光
関口 均（斜里町）	知床アウトドアガイドセンター
尾田 保（羅臼町）	知床クルーズはまなす

(2) 羅臼冬期観光船乗船による利用資源の利用状況調査

冬期の運航を行っている羅臼町の観光船に乗船し、就航状況や野生動物観察時の観光船の対応と利用者の反応について記録を行った。調査は、複数の観光船（表 2-3）を対象とすることに努めた。

調査にあたっては、株式会社北海道二十一世紀総合研究所、調査研究部客員研究員、桑原幸範氏の助言を得た。また、乗船にあたり、(有)知床ネイチャークルーズ、(有)丸は宝来水産ゴジラ岩観光、(株)まるみに多大な協力を得た。

【調査記録項目】

就航状況 : 天候、結氷状況等

観光船の対応 : 野生動物との距離、行動(停止・接近・回避)、
船内アウンス等

利用者の反応 : 行動、言動等

表 2-3 羅臼町冬期観光船

船名	事業者名
エバーグリーン	(有)知床ネイチャークルーズ
カムイワッカ-55号	(有)丸は宝来水産ゴジラ岩観光
アルランⅢ世	(株)まるみ
朝枝Ⅱ	清水端 昇
はまなす	尾田建設(株)

(3) 羅臼冬期観光船利用者への利用動向アンケート調査

冬期間の観光船利用者の動向を把握する為にアンケート調査を実施した。調査対象は、(2)利用状況調査の利用者及びその他の観光船利用者全てとし、調査期間中出来るだけ多くの回収に努めた。

調査にあたっては、(有)知床ネイチャークルーズ、(有)丸は宝来水産ゴジラ岩観光、(株)まるみに多大な協力を得た。

調査対象	: (2)利用状況調査の利用者及びその他の観光船利用者
項目	: 利用者属性、滞在期間、乗船目的、満足度等
調査用紙	: アンケート調査票を資料編に添付

2-2 とりまとめ方法

各調査結果を以下の資料に整理し、とりまとめを行った。

(1) 既存文献の収集とヒアリング調査

○調査実績表

=資料編=

○収集文献リスト

○文献データ (pdf)

○野生動物専門家ヒアリング調査票

○観光船事業者提供・野生動物確認データ

○観光船事業者提供・利用者数、航海数

○斜里町観光入込数

○羅臼町観光入込数

○観光船利用者数と羅臼町/斜里町の観光入込数の変化 (年間)

○月別観光船利用者数と月別観光入込数の変化の比較

(2) 羅臼冬期観光船乗船による利用資源の利用状況調査

○調査実績表

○乗船による利用資源の利用状況調査概況

=資料編=

○観光船利用状況調査票

(3) 羅臼冬期観光船利用者への利用動向アンケート調査

○調査実績表

○アンケート結果

=資料編=

○アンケート調査票

○アンケート回答データ

○アンケート回答用紙 (別冊)

3 調査結果

3-1 既存文献の収集とヒアリング調査

(1) 野生動物専門家ヒアリング

1) 調査実績

表 3-1-1 に記した日程で野生動物の専門家から、知床世界自然遺産地域海域に生息する野生動物のうち、観光船に利用されている野生動物に関する知床における出現時期等に関するヒアリングを行った。

表 3-1-1 野生動物専門家ヒアリング調査実績

専門家氏名	専門分野	調査日	調査場所
中川 元	海鳥、ワシ類、その他	平成 23 年 3 月 18 日	斜里町
小林 万里	アザラシ類、トド	平成 23 年 3 月 7 日	釧路町
佐藤 晴子	鯨類(イルカ・クジラ)、海鳥、その他	平成 23 年 3 月 6 日	東京都
山村 織生	トド	平成 23 年 3 月 15 日	釧路町
福田 佳弘	海鳥	平成 23 年 3 月 17 日	中標津町
石名坂 豪	アザラシ類、トド	平成 23 年 2 月 18 日	羅臼町

2) ヒアリング結果

各専門家のヒアリング結果を野生動物専門家ヒアリング調査票(資料編)に記載した。

ヒアリングでは、現在観光船に利用されている野生動物のほかに今後利用が想定される鳥類等に関する情報も提供された。

また、情報の多くは、近年の出現時期や生態に関するものであった。個体数変化、あるいは目撃数の変化に関わる経年的な変遷が読み取れる情報は、ワシ類のみであった。

(2) 観光船事業者ヒアリング

1) 調査実績

表 3-1-2 に記した日程で、観光船事業者から日々の業務において船上から確認された野生動物、観光船利用者の属性についてヒアリングを行った。

表 3-1-2 観光船事業者ヒアリング調査実績

事業者名	担当者名	調査日	調査場所
(有)知床ネイチャークルーズ	長谷川 正人 大木 絵里香	平成 23 年 2 月 24 日	羅臼町
(有)丸は宝来水産ゴジラ岩観光	小林 廣幸 神尾 昇勝	平成 23 年 3 月 1 日	羅臼町
知床アウトドアガイドセンター	関口 均	平成 23 年 3 月 17 日	斜里町
尾田建設(株)：知床クルーズはまなす	尾田 保 清藤 彩加	平成 23 年 3 月 1 日	羅臼町

2) ヒアリング結果

調査の結果、4 社のうち 2 社から観察記録の提供を得た。観光船利用者の情報については、3 社から情報を得た。観察記録及び乗船者記録の有無を表 3-1-3、表 3-1-4 に整理した。乗船者の属性に関してはヒアリング内容を整理し表 3-1-5 にとりまとめた。

(有)知床ネイチャークルーズは、海鳥のうち、オオワシ、オジロワシ、ミズナギドリ類について、海生哺乳類のうち、トド、アザラシ類、クジラ類、イルカ類について 2006 年から羅臼側での観察記録がある。(有)丸は宝来水産ゴジラ岩観光では、ウトロ側を中心にヒグマに関する観察記録がある。2 社の提供データを資料編に整理した。また、乗船客数の記録についても資料編に整理し、羅臼町、斜里町の観光入込数と比較した。

表 3-1-3 観光船事業者による野生動物観察記録の有無

事業者名	観察記録	出現種	出現時期	出航数	目撃率	観察記録の内容
(有)知床ネイチャークルーズ	海生哺乳類 ワシ類ほか	○	○	○	○	2006 年 7 月～ 2011 年 2 月
(有)丸は宝来水産ゴジラ岩観光	ヒグマ	○	○	○	○	2004 年～ 2009 年 11 月
知床アウトドアガイドセンター	-	-	-	-	-	-
尾田建設(株)：知床クルーズはまなす	-	-	-	-	-	-

表 3-1-4 観光船事業者による乗船客数データの有無

業 者 名	乗船客数データ	内 容
知床ネイチャークルーズ	○	2007年1月～2011年2月
（有）丸は宝来水産ゴジラ岩観光	○	2004年～2009年
知床アウトドアガイドセンター	-	-
尾田建設（株）：知床クルーズはまなす	○	2010年4月～2011年3月

表 3-1-5 乗船客の属性（ヒアリング内容から作成）

業 者 名	コ ー ス 名	居住地の区分			旅行形態の区分	
		道内	道外	海外	個人	ツアー
知床ネイチャークルーズ	流氷・バードウォッチングコース	40%	60%	*	40%	60%
	くじら・いるか・バードウォッチングコース	40%	60%	*	60%	40%
（有）丸は宝来水産 ゴジラ岩観光	写真撮影コース	30%	50%	20%	40%	60%
	バードウォッチングコース	30%	50%	20%	30%	70%
	観光コース	30%	50%	20%	-	100%
知床アウトドア ガイドセンター	シーカヤック	5%	90%	5%	-	-
尾田建設（株）： 知床クルーズはまなす	ホエールウォッチングコース	-	-	-	-	-
	流氷ウォッチングコース	-	-	-	-	-

*：数%



イシイルカ（羅臼、（有）知床ネイチャークルーズ撮影、2010/5/11）



シャチ（羅臼、(有)知床ネイチャークルーズ 撮影、2010/7/4）



マッコウクジラと羅臼の街並み
（羅臼、(有)知床ネイチャークルーズ 撮影、2010/7/4）

(3) 既存文献の収集

ヒアリング調査で提供された資料及び情報に加え、受託者が収集した文献資料を合わせて収集文献は計 151 件であった。

記事名、著者名、発行日等を収集文献リスト（資料編）に整理し、このうち収集した文献資料は、pdf ファイル形式で整理し、別添 CD-R に収録した。

3-2 羅臼冬期観光船乗船による利用資源の利用状況調査

(1) 調査船舶の概要

羅臼町では冬期に、5社の観光船が運航している（p3表2-3）。調査期間中に、観光船各社に問合せを行ったところ、出航予定のあった3隻（表3-2-1）に乗船して調査を実施した。朝枝Ⅱ、はまなすの2隻は出航予定がなかった。

表3-2-1 調査船舶の概要

船名	エバーグリーン	所属	(有)知床ネイチャークルーズ
		船質	耐蝕性アルミ合金製
		総トン数	19トン
		定員	50名
		最大速力	22ノット
		航海速力	約17ノット
		全長	18.70m
		幅	4.40m
		深さ	1.69m
		料金&コース	A 流氷&ハートウォッチング 60分 ¥4000 B 流氷&ハートウォッチング 150分 (写真撮影) ¥8000～
船名	カムイワッカ-55号	所属	(有)丸は宝来水産ゴジラ岩観光
		船質	軽合金
		総トン数	14トン
		定員	夏期 55名 冬期 30名
		航海速力	20ノット
		全長	13.13m
		幅	4.19m
		深さ	1.24m
		料金&コース	写真撮影コース 180分 ¥10000 ハートウォッチングコース 180分 ¥7000 観光コース 60分 ¥4000

